



すこし考えてみて水道の民営化と広域化



先の国会で再提出された水道法「改正」案は、衆議院をわずか2日の審議で通過しました。

自公政権は「重要法案」を強行成立させるため会期延長したため、水道法も危ない状況となりました。

くしくも西日本豪雨により水道施設にも大きな被害がおよび、参議院では審議入りすることなく継続審議となっています。

自治労連公企評は、水道法改正案にある、水道事業の基盤強化のための「広域化」と「官民連携」の推進は、水道事業の本旨であり憲法に保障される生存権をおびやかすものとして、談話・見解を発表してきました。

このたび、ストーリー形式で水道事業の民営化と広域化を考える宣伝物を作成しました。エピソード1は全11話でHP上に公開していきます。

※転載、配布用としても活用してください。

なお、活用する際は、事務局までお知らせください。

《すこし考えてみて水道の民営化と広域化》

- 第1話 コンセッション方式ってなあに？
- 第2話 なぜ、水道を民営化するの？
- 第3話 なぜ、水道が危機になったの？①
- 第4話 なぜ、水道が危機になったの？②
- 第5話 世界では再公営化が起きている①
- 第6話 世界では再公営化が起きている②
- 第7話 水道法は何をめざしたの？①
- 第8話 水道法は何をめざしたの？②
- 第9話 民営化への対案は①
- 第10話 民営化への対案は②
- 第11話 水は商品ではありません



みずき&こうえい

すこし考えてみて 水道の民営化と広域化

??素朴な疑問?? 第1話



コンセッション方式ってなあに？



コンセッション（公設民営）方式で上下水道事業を実質民営化しようとしています。

完全民営化じゃないから大丈夫と言うけど、本当に大丈夫なの？

民営で水道の安全は大丈夫？料金は高くなるわないの？

全11話で水道民営化と広域化について考えていきます。

出演：水野水貴（みずき）、水野公営（こうえい）

（202×年、「みずき」と「こうえい」の家に市民広報が届きました。そこには、みずきの住む街の水道を民営化する計画が載っていました。）

みずき：こうえい、見たこれ。コンセッションってわかりにくいけど、民営化なんですよ？

こうえい：完全民営化はこれまでも行われてきたよね。JRのように国鉄の資産、レールも電車も土地もすべて民間に売却し、運営もすべて民間に委ねるのが完全民営化。

でも、今回の水道の民営化は資産は公が保有し、運営を民間に任せる仕組みだよ。

みずき：なんで、その方法にするんだろう。

こうえい：それだけ「水は大切なものだから民営はだめ」という住民の声があがるだろ。今の政権は水道・下水道を民営化しようとしているけど、それを決めるのは、地方議会だから国のコントロールは効かないよね。

みずき：だって、心配じゃない。

こうえい：だから「完全民営化ではありませんよ」って言うのさ。公が関与するから大丈夫ってね。

みずき：じゃあ、安心じゃない。しかも、市が、事業がちゃんと行われているか「モニタリング」をするから大丈夫って書いてあるよ。

こうえい：モニタリングっていうけど、モニタリングできるだけの知識が市に残るか疑問だけだね。

みずき：どうゆう意味？

こうえい：だって、いまだって水道メータ見たり、水道工事するのだって職員じゃなくて委託だから民間でやってるわけでしょ。浄水場だって委託したの何年も前だよ、確か。そうなるって職員は、実際の仕事なんて知らないんじゃない？

みずき：確かに。実際の仕事も知らずにモニタリングできないよね。

こうえい：だって電気料金は、太陽光発電なんかの自然エネルギーを買い取るための費用や、最近では福島原発なんかの廃炉費用まで料金に乗せしちゃえ、なんてこと、知らないうちに決まるよね。



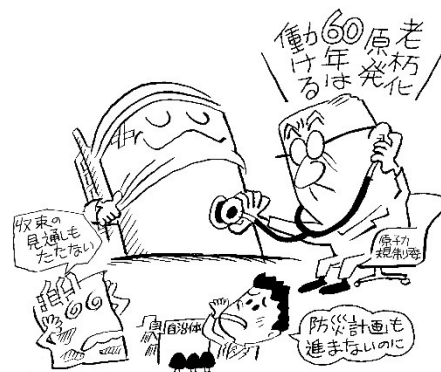
みずき：そっか。だいたい水道の原価なんて、今まで考えたこともなかったわ。なんで、**こうえい**はそんなこと知ってるの。

こうえい：でしょ。俺もその広報を見てから調べただけど、民営化して大丈夫なの？って考えている市民や団体は増えているみたいだから、ネットで見れば賛否両方の主張はみれるよ。

みずき：（水道なんて）蛇口ひねればいつでも出るから考えたこともなかったもの。

こうえい：俺もだけど。世界では民営を公営に戻す「再公営化」事例も増えているみたいだから、これを機会にもっと考えてみないとね。

（水道が民営化になると知って、興味をもった2人。いままで、あたりまえだった水道について、まったく知らなかったのです。）



水道料金の原価がわかりますか？

公営と民営。たとえ水をつくる原価が同じでも、民営には利益、配当、役員報酬などが含まれるため、同じ効率性を持たせれば水道料金に利益などを含まない公営のほうが安くできるはずですが、それほど公務員は「高給」だったのでしょうか。職員も減らし、外部委託により経費を削減したはずなのになぜ経営が悪化しているのでしょうか。

次回は、なぜ、水道事業を民営化するのか？について、少し興味をもった、**こうえい**が語ります。

世界では、この15年で267件の再公営化

2000年の時点では3件、いまも再公営化は続いています
『民営化は遅れた政策です』

☞フランスでは、2000年から2009年まで33件だった事例が、2010年以降は73件に増えています。特に2010年のパリでの再公営化は大きな注目を集め、フランス国内だけでなくスペインなど諸外国にも大きな影響を与えました。



水道市場を失った水メジャーは日本の水道市場を狙う

水メジャーとはベオリア、スエズ、テムズなどのグローバル企業です。

作成：自治労連公営企業評議会
事務局：名古屋水道労働組合
名古屋市中区三の丸
TEL052-971-3106

※本資料を組織外へ配布もしくは転載する場合は、配布方法、目的など事務局までご連絡ください。

すこし考えてみて 水道の民営化と広域化

??素朴な疑問?? 第2話



なぜ、水道を民営化するの？



コンセッション（公設民営）方式で上下水道事業を実質民営化しようとしています
完全民営化じゃないから大丈夫と言うけど、本当に大丈夫なの？
民営だと施設・管路の更新が進むの？経営は改善されるの？

出演：水野水貴（みずき）、水野公営（こうえい）

（みずきとこうえいの住む街に水道民営化計画があることを知った2人。なぜ、民営化するのかを考え始めました。）

みずき：こないだの話のつづきだけど、なんで、水道を民営化しようとするのかな？

こうえい：だいぶ調べたからね。ちょっとうんちく語れるぜ。簡単にいえば、民間企業がもうけるために、水を「商品」にしよう！ということだよ。（どや顔）

みずき：でも議会で水道料金の上限を設定するって書いてあったわよ。

こうえい：儲けるためには、だいたい次の3つが必要だよ

- 1 市場を拡大して、たくさん売る シェアの拡大
- 2 価値に見合う価格をつける 競争力
- 3 安く作って売る コストの削減

3つともあればいいけど、でも、いくつもの企業がシェアを奪い合うし、コストの削減も限界があるよね。でも2はちょっと違って、競争がなければ高く値段がつけれるし、逆に「そんなに儲けなくてもいい」という経営者であれば、そんなに高く売らないかもしれない。だから、競争し合えば「値段は安くなる」はずなんだけど、そうはならない。

みずき：水道は独占企業だからでしょ。

こうえい：そう。コンセッション方式は、最初は競争があるかもしれないけど、一度契約すれば何十年も先まで競争なんてないよね。

みずき：でも、いい加減な仕事だったら契約破棄すればいいんじゃない。

こうえい：そうなんだけど、その時、じゃ誰にやってもらうの？ってことになるよね。

みずき：他の企業でいいんじゃない。

こうえい：これは想像だけど、足元みられて余計高くなってしまふんじゃない。だって、そんなに誰でもできるもんじゃないでしょ水道は。

みずき：そうよね。しかも、先回の話でもモニタリングできるかどうかもわからないしね。

そう考えると、なんで民営化しようなんてことになったんだろう。





こうえい：だいたいどこの水道局のHPみても、水道局に技術者がいない、人口減少などで水道料金収入が減って耐震化や更新工事ができないって書いてあったね。

みずき：確かにうちもトイレや洗濯機を節水型に替えたら水道あんまり使わなくなったしね。でも、そんな状況で水道事業を民間がやっても儲からないんじゃない？

こうえい：そうなんだよ。そこがイマイチわからないんだ。水道料金上げれば別だけど。そんなの民営でも公営でも同じだよね。

みずき：うーん。しかも、料金の上限は議会で決めるんだから、めちゃくちゃ上げられないんでしょ。

こうえい：・・・(多分、なんでもかんでも民営化するってことだろうけど)

みずき：やっぱり、**こうえい**のうんちくもその程度なのね。わたしもネットで少し調べたけど、水道の民営化を考える集会在今度あるみたいだから行ってみたい。

こうえい：反対！だけ、みたいな集会じゃない？

みずき：違うと思うよ。たぶん。だって「反対！」って書いてあるんじゃないかって、考えてみようって感じになってるし。

こうえい：じゃ、一度行ってみるか。

(と、言う訳で、もう少し関心をもとうとする2人でした。)

水道法には「低廉」、できるだけ安くすると書いてあります。

水道は莫大なインフラ産業ですからコストもかかります。しかし、水がなくては生きていけないので、できるだけ安く、誰でも使えるように料金を設定することが求められます。

これは、水道は福祉であることを意味し、そのために必要な税金を投入したり、公的資金を使って借金をするなどして建設し、計画的に返済してきました。

では、なぜ経営難になったのでしょうか？公営水道は放漫経営をしてきたのでしょうか？民営なら経営を立て直せるのでしょうか？

次回は、なぜ、水道事業が財政危機になったのか？について、**みずき**と**こうえい**が勉強します。

総支出	¥290,254	
水道	¥1,960	0.7%
電気	¥10,930	3.8%
ガス	¥5,886	2.0%

平成27年度・家計支出に占める支出割合

←国連は総支出の3%程度が支払い可能な「水道料金」としています。

作成：自治労連公営企業評議会
事務局：名古屋水道労働組合
名古屋市中区三の丸
TEL052-971-3106

※本資料を組織外へ配布もしくは転載する場合は、配布方法、目的など事務局までご連絡ください。

すこし考えてみて 水道の民営化と広域化

??素朴な疑問?? 第3話



なぜ、水道が危機になったの?①



コンセッション（公設民営）方式で上下水道事業を実質民営化しようとしています
完全民営化じゃないから大丈夫と言うけど、本当に大丈夫なの？
水需要が減って経営が大変になっているの？でも水需要計画は間違っていなかったの？

出演：水野水貴（みずき）、水野公営（こうえい）、市民の水を考える会・水尾守（まもる）

（みずきとこうえいの住む街に水道民営化計画があることを知った2人。なぜ、民営化するのか「考える会」に参加してみました。）

まもる：水道は憲法 25 条生存権を保障する事業だから、国は水道事業を保護育成しなければならないのに、職員を減らすことやアウトソーシングを・・・うんたらかんたら・・・

それでは、参加の皆さん質問ありますか？

こうえい：あの～難しすぎてよくわからなかったんですけど、結局は水が売れなくて、お金がないから人も雇えないし、施設を新しくする工事もできないって事ですか？

まもる：そうなんです。水が余っているんです。市が配った資料ではわかりにくいですが、19××年に余丸（あまる）ダムをつくったんですけど、そのときの水需要予測はまだ右肩上がりだったんです。でもそんなに水の使用量は増えなかったんです。

こうえい：そりゃそうでしょ。僕はこの街にずっと住んでるけど人口ってそんなに増えてないですもん。

まもる：そうなんです。だから余丸ダムは水源の多系統化と言って、もし今、水をとっている川に水質事故や濁水が起きてても大丈夫なようにって言って造ったんです。

みずき：そりゃそうでしょ。だって困るもん。

まもる：そうなんですけど、このダムの水は一滴もつかってないんですよ。というか使えないんです。

みずき：どうゆうことですか？

まもる：この余丸ダムはB川に作ったから、A川で取水しているうちの市が水を取るには、B川からA川まで導水路といってトンネルをつくって水を引っ張ってこないと、水をとることができないんだよ。でも、そのトンネルはまだできていない。

こうえい：ということは、トンネル造るんですか？

まもる：計画はあるけど、実際に造るのは止まっています。

こうえい：そのトンネルにいくらかかるんですか？

まもる：市は×〇△億円と見積もっています。

こうえい：そんな費用出したら、赤字になっちゃうでしょ。



まもる：全国でも、ダム計画と実際の水需要はすごく開きがあるからダムの借金が返せなくなるかも知れないんだ。しかも、この先も水は、さらに売れなくなる。

こうえい：そんな状況で民営化して借金は返せるの。

まもる：だからコンセッション方式で運営権対価という「まとまったお金」が市に入るから借金が返せると言われているけど、そもそも何でそんなに無理してダムを造ったのか疑問があるよね。

みずき：借金かえせればいいって訳（怒）。その計画が間違っていました。とは言わないの？

まもる：だから行政は住民に透明性がある情報を伝えてくれないといけないんだけど、みんなも水道に関心なかったのでは？みんなの水道は、どこの水を使ってるか知ってましたか？

みずき：確かに。おっしゃる通り・・・（シュン）

まもる：今回は実際に水道で働いている人に来てもらって勉強会をするから、よかったらまた来てください。

こうえい・みずき：はい。

（過去に過大な水需要計画があったことを知った**みずき**と**こうえい**。他にも今日の考える会でなぜ財政が厳しいのか？その一部を知ったのでした。でも、水道事業の危機はそれだけではないようです）



なぜ、無駄なダムをつくってしまったのでしょうか？

水利権（川や湖から水を取る権利）は、国土交通省が管轄しています。通常、川から水を取るには、上流にダムをつくって水を貯めると、その水を利用する権利が発生する仕組みです。だから、川に水が流れていてもダムが枯れれば水は取れないことになります。

高度成長期には人口増加と経済発展により水需要が伸び続けましたが、ダムを造らないと新たに水道用の水利権を得ることができなかつたのです。決してダムが絶対ダメという訳でなく、ダム計画の元となった水需要予測が過大だったことが問題なのです。

今回は、なぜ、水道事業に技術者がいなくなってしまったのか？モニタリングはできるのか？について、水道労働者が語ります。



現在、水道水源のダム依存率は5割近く（用水供給事業では9割程度）ですが、多くの水道事業体で「水余り」状態になっています。

作成：自治労連公営企業評議会
事務局：名古屋水道労働組合
名古屋市中区三の丸
TEL052-971-3106

※本資料を組織外へ配布もしくは転載する場合は、目的、配布方法など事務局までご連絡ください。

すこし考えてみて 水道の民営化と広域化

??素朴な疑問?? 第4話



なぜ、水道が危機になったの②?



コンセッション（公設民営）方式で上下水道事業を実質民営化しようとしています
完全民営化じゃないから大丈夫と言うけど、本当に大丈夫なの？
水道の安全のため民間の力を借りるっていうけど、災害にも対応できるの？

出演：水野水貴（みずき）、水野公営（こうえい）、市民の水を考える会・水尾守（まもる）
清水送太（そうた）

（みずきとこうえいの住む街に水道民営化計画があることを知った2人。考えるようになって初めて水道のことを知るようになっていきました。）



まもる：国は水道事業に人材がいなくなって技術力が低下していると言うけど、国が地方にも採用抑制してきたんです。特に上下水道事業の人材は他の公共部門より多く減らした結果・・・うんぬんかんぬん・・・（いつも熱が入り話の長くなるまもるであった）それでは、そうたさんお願いします。

そうた：水道は24時間365日休みなく誰かが働いています。2000年から始まった大量退職時期にまもるさんが言った採用抑制が押し付けられたので、十分な採用ができなかった。特に技能労務職といって現場でバルブを操作したり、浄

水場の運転管理をする職員の採用ができなくなり。結果、委託を拡大するしかなかった。そして現場を知る技術者も減り、委託業務が何をやっているのかわからないってことになった。設計もコンサルタント委託に出したけど、設計の中身もわからない職員が増えてしまった・・・
話はつづく・・・

まもる：ありがとうございました。ではここから対話形式で行います。

私は黙ってますので質問・意見がある方はどうぞ。

みずき：委託に出して経営は良くなったのですか。

そうた：人件費（局職員の給与）が物件費（委託料）に代わっただけで、仕事なくなる訳ではありませんから支出することに変わりはないです。しかも、最初は安かったけど、段々その額が上がっていく。

みずき：それじゃ委託に出す意味がないですね。

まもる：そうなんだ！2002年にも水道法改正があって、第3者委託が可能になった。でも結果として余計に技術力は低下した。水需要のこともだけど！反省がないんですよ国は・・・（つつい熱くなる「まもる」であった）





こうえい：でも職員のレベルを上げるための研修に取り組んでいるってHPに書いてありましたよ。

そうた：研修ではやっぱりダメですね。私はまだ現場を知っているのでイメージできますが若い職員は現場で失敗した経験もないし、研修には限界があります。

こうえい：それじゃコンセッションになってモニタリングするっていても、いまでもできていないのに無理じゃないですか。

まもる：だからコンセッションなんて最悪なんですよ。公が最終的に責任取るって言うても、仕事の中身知らないんじゃ、何が良いのか悪いかわからない！（怒）

そうた：私たちも努力していますけど、忙しすぎてメンタルになったり長時間労働もすごい。委託業者だって契約金額は上がっても労働者の単価が

上がる訳ではないので質が落ちていくのが心配。

みずき：それじゃますます技術力が落ちるじゃないですか。

そうた：民間なら技術力が維持できるっていいですけど、結局は労働者の質を上げるには経営者のやる気というか、労働条件が大事だと思いますよ。労災事故も増えてるし。

もっと、心配しているのは災害などの時です。

みずき：コンセッションになっても「災害にも強い水道を」って市は言ってますよね。どうゆうことですか？

そうた：民間は利益優先だから、災害時に備えた余裕というか訓練・実践なんてコストをかけるのかな？って素朴に思います。うちも人を減らし過ぎて他都市が災害に起きた時に応援に出動する余裕もないのに、やっぱり公営だから人は送り出す。でも、その間にも普通に仕事はあるから、残った人は大変なことになっている。応急給水は自衛隊じゃなくて僕らでできるのに、歯がゆいですよ。

みずき・こうえい：・・・（本当に地震が起きたら大丈夫なのかな？）

（自分の街の水道が大変なことになっていることを知った**みずき**と**こうえい**。他にも今日の勉強会で、本当にコンセッションでいいのか？を真剣に考えるようになりました。）

給水人口	事業毎の平均職員数				最多	中間値	最小	事業所数
	事務職	技術職	技能職	合計				
100万人以上	338	488	133	959	3847	2098	348	15
50万人～100万人未満	74	111	16	201	370	243	115	14
25万人～50万人未満	37	65	9	111	223	129	35	60
10万人～25万人未満	17	22	2	41	171	92	13	161
5万人～10万人未満	9	10	1	20	70	37	4	221
3万人～5万人未満	6	4	0	10	33	18	3	230
2万人～3万人未満	4	3	0	7	21	11	1	156
1万人～2万人未満	3	2	0	5	21	11	1	289
5千人～1万人未満	2	1	0	3	15	8	1	238
5千人未満	1	0	0	1	2	2	1	4

1388

なぜ、こんなに人を減らしてしまったのでしょうか？

小規模水道事業では1人しか職員がいな
いところもあります。

作成：自治労連公営企業評議会
事務局：名古屋水道労働組合
名古屋市中区三の丸
TEL052-971-3106

※本資料を組織外へ配布もしくは転載する場合は、目的、配布方法など事務局までご連絡ください。

すこし考えてみて 水道の民営化と広域化

??素朴な疑問?? 第5話



世界では再公営化が起きている①

コンセッション（公設民営）方式で上下水道事業を実質民営化しようとしています

完全民営化じゃないから大丈夫と言うけど、本当に大丈夫なの？

世界では民営化された水道が、次々と再公営化されています。何が起きたのでしょうか？

出演：水野水貴（みずき）、水野公営（こうえい）、トランスナショナル研究所・岸本聡子（さとこ）

（みずきとこうえいは、調べていくうちに世界では民営から公営に戻す動きが進んでいることを知りました。世界の再公営化を調査する人の話が聞ける機会があり、参加することにしました。）

（東京へ向かう新幹線の中）

みずき：今日は久しぶりの東京旅行ね。ちょっとマジメな。

こうえい：そうだね、ネズミーランド以来かな。浅草とスカイツワーも楽しみだね。

みずき：でも本題は、私たちの水がどうなるかよね。そこはしっかり勉強しないと。

こうえい：そう、世界で失敗しているのに、なんで日本は民営化しようとしてるかだよ。今日の講師の研究所が出している資料をネットで見たけど、世界では、この15年ほどで267件も水道事業を再公営化してるんだから。何か問題があるんだよ。

みずき：今の時代、情報はすぐに手に入るよね。でも双方の意見が載るから見定めは大事だよな。

こうえい：そうなんだ。だいぶ解ってきたけど、日本では海外の失敗をみて「そうならないように」って言うてる。でも、こないだ（その4）の実際に働いている人の話を聞くと市の言うてるのが本当なのかなって思っちゃうな。

みずき：森友・加計学園の「忖度」とか、官民癒着とかあるし。海外でもやっぱりそうなんですよ。

こうえい：やっぱり、市は市民のために考えて欲しいけど、自分たちもよく知ることが大事だって気が付いたからね、俺たち2人は（どや顔）

（会場）

さとこ：世界で起きている再公営化は水道だけではありません。電力、交通やインフラのほかにも学校給食やごみ収集など様々なセクターで行われています。それは住民の暮らしに直結するサービスを・・・かくかくしかじか・・・そして、とても重要なことは、やっぱり民営化しないことです。



会場質問者：なぜ再公営化が起きているのですか？

さとこ：2018年1月に英国でカリリオンという官民連携会社が倒産し、英国の公的機関である会計検査院は「PFIは公的入札より4割高い」というレポートを報告しました。またEUもこの直後に、会計監査院が12のPPP事業を検証した結果を公表し「問題が解決するまでPPPを採用するべきではない」と勧告しました。このように、民営は公営よりもコストがかかることと、お金の流れが不透明でわからないことがはっきりしてきています。

会場質問者：やはり、住民が自分の生活というか、水のような命にかかわることに関心をもつことが重要だと思うのですが、日本で進めようとしている民営化は「海外の失敗例を教訓にする」と言っています。

さとこ：水道施設は「市民が持っている社会的財産なんだ」という感覚が市民・政治家の中で希薄です。でも、それを売ってしまって初めてわかる。例えばベルリンでは、数十億円で売って、お金は一般会計に入り、自治体としては「公的債務を削減した」と成果を強調しましたが、その代り水道施設という資産を失う。十数年後に再度買い戻す際には約3倍の値段でした。費用は結局、先々の水道料金で払うことに……。水道は改めて市民の財産になりましたが、利息も含めて相当な借金を負うことになりました。

会場から意見：私はこう思います。海外で民営水道市場を市民が公営に取り戻しているということは、市場を失った水メジャーが「海外の失敗例を教訓に日本を市場化する」ために進出するってことじゃないですか！ だけど、国や地方自治体がそれに手を貸している。これって「忖度」ってやつでしょ。だったら、その政治を動かさないといけないということですよ。私たち市民が！

(会場から拍手)

みずき：少し難しかったけど、聞きに来てよかったね。でも、何も知らないまま聞いたらフーンって感じだったと思う。

こうえい：そうそう、俺もそう思った。だいぶ知識がついたからコンセッションなんて「誰も責任とらない仕組み」で最悪の選択だとわかるけど。

みずき：市の広報もさとこさんが言うように、メリットしか書いてないけど、やっぱりデメリットもあるはずだから。

こうえい：さあ、浅草行って美味しいもの食べようか。



岸本聡子さんは実在の方です。

(TNI)トランスナショナル研究所の資料は URL/<https://www.tni.org/en/public-alternatives> よりダウンロードできます。また、本資料で参照した資料(日本語版)は次の URL よりダウンロードできます。https://www.tni.org/files/publication-downloads/rps_ja_web.pdf

日本語版は事務局までご連絡ください。データ送信いたします。

作成：自治労連公営企業評議会
事務局：名古屋水道労働組合
名古屋市中区三の丸
TEL052-971-3106

※本資料を組織外へ配布もしくは転載する場合は、目的、配布方法など事務局までご連絡ください。

すこし考えてみて 水道の民営化と広域化

??素朴な疑問?? 第6話



世界では再公営化が起きている②



コンセッション（公設民営）方式で上下水道事業を実質民営化しようとしています
完全民営化じゃないから大丈夫と言うけど、本当に大丈夫なの？
再公営化し、市民サービスを取り戻した水道事業。そこにはどんな苦勞があったのでしょうか？

出演：水野水貴（みずき）、水野公営（こうえい）

（帰りの新幹線の中）

みずき：さとこさんが言った「世界でも水が民営化されたのは最後のほう」「やっぱり水は（民営にしては）だめでしょ」は響いたよね。うちの市で進めようとしている人にも聞いてもらいたいな。

こうえい：そう、失敗しない民営化なんてないって思えてきた。だってこの新幹線は儲かってるけど、JR北海道は赤字で大変。第3セクター鉄道は廃線したのもあるでしょ。JRも30年ぐらい前に民営化して、今これだから。

みずき：フランスが再公営化することになったのも30年たってからだから、ずっと先に気が付くのよね。私たちに子供ができれば、その子たちが苦勞するのもかね。

こうえい：フランスでも大きな都市は民営化になったけど、小さなところは公営のままだったって言ってたよね。やっぱり儲かるところしかやらないんだって思った。

みずき：しかも再公営化するのも多変だって話。

こうえい：そうそう、戻すのにも企業から多額の違約金を請求されたり。結局、企業や投資家に損はないようにするのは当然だと思うよ。

みずき：結局、最後はわたしたちが負担することになるんだって。

こうえい：パリの元水道局長が言ってた元従業員の話はショックを乗り越えて「そんなもんだよな」って思った。（パリでは再公営化の際、元民間労働者を公営事業へ迎え入れた）

みずき：工事費を水増し請求するよう会社から指示されていたって話ね。

こうえい：そりゃ自分のところに技術がなくなればいいなりになるしかないし、俺だって上司に言われればしょうがなくすると思うよ。そんな仕事したくないけど。

みずき：再公営化しても労働者は民営化のときの人達を雇ったのね。それでサービスが良くなったってことは、やっぱり公営なのか民営なのか問題じゃなくて、前、こうえいが「水で儲けることさ」なんて言ってたけど、今日、ストーンと腹に落ちたわ。

こうえい：俺はみずきと違って少し解らないのは、「公務だとさぼる」ってイメージあるよね。だから民間だと「効率が上がる」ってイメージにな



世界一
企業が活躍
できる国



るけど、そうなのかな？俺は会社員だから当然、会社が利益でなくてつぶれたら困っちゃうから会社のためにイコール利益だすために頑張る訳でしょ。公務で、しかもつぶれない企業だったらやっぱりさぼっちゃうんじゃない？

みずき：そうね。でもこうえいの仕事も社会のために役立ってるでしょ。

こうえい：そりゃそうさ。うちはブラック企業でもないしな。

みずき：「そうた」（第4話）さんたちはブラック公務員なんですよ。公営企業なのに。結局、経営者、トップがもうけばかり考え

ればそうになっていくわよ。たぶん、富の集中と格差・貧困はそうやってできていくのよ。

やっぱり水を「商品」のように扱うのは間違っていると思うわ。

こうえい：そうだな。「そうた」さんたちは頑張っているんだから、これからも頑張ってもらいたいよね。

公営企業は「儲けない」企業なんだから大変だと思うけど。

みずき：私もこの話を知る前は、水道料金が上がったら嫌だって思ってたけど、水道の仕組みを知ってからは、値上げ反対みたいな単純なものじゃないって解ったから。

こうえい：大事なのはやっぱり経営の透明性だということだね。民間企業では株主には見せても、市民には情報は公開されないだろうから。

みずき：でも、私たちは何をしたらいいか判らないのよ。まもるさんは反対署名をやるって言ってたけどみんなの関心がそんなにあるとも思えないし・・・

こうえい：そうなんだ。俺もなにかしなきゃって思えてきたけど、何ができるんだろう。

みずきと**こうえい**は街頭署名活動にも参加しながら、水道について深く考えるようになっていきました。

しかし、202×年、**みずき**の街の水道は民営化されてしまいました。

全国の

水道事業の収入は **2.7兆円**

資産規模は 32兆円

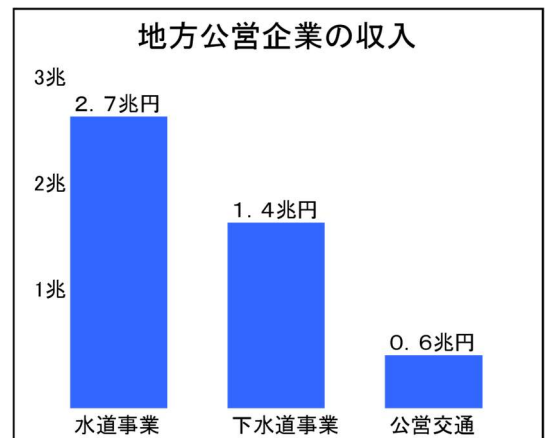
下水道事業の収入は **1.4兆円**

資産規模は 66兆円

という「大きな市場」だと企業は考えますが

水は「商品」ではありません。

水道事業は憲法 25 条・生存権を具現化する事業です



作成：自治労連公営企業評議会

事務局：名古屋水道労働組合

名古屋市中区三の丸

TEL052-971-3106

※本資料を組織外へ配布もしくは転載する場合は、目的、配布方法など事務局までご連絡ください。

すこし考えてみて 水道の民営化と広域化

?? 素朴な疑問?? 第7話



水道法は何をめざしたの①



コンセッション（公設民営）方式で上下水道事業を実質民営化しようとしています
完全民営化じゃないから大丈夫と言うけど、本当に大丈夫なの？
水道法が変えられようとしています。いまの水道法は何をめざしたのでしょうか。

出演：市議会議員・水野水貴（みずき）、水野公営（こうえい）、水道局長・市場嘉文

（204×年。「みずき」と「こうえい」の街の水道が民営化され20年が経ちました。みずきの街の水道を「このまま民営にするか？再公営化するか？」の市議会が開かれることとなりました。）

議長：水野みずき君

みずき：202×年に水道法は変えられ、コンセッションの導入が推進されてしまいました。しかし20年前の危惧が現実のものとなっています。202×年、本市も水道を民営化して以後、10年後には水道料金を上限まで値上げしました。しかし、民営化の時も、値上げのときも約束していた管路更新などは結局「当初見積もりより費用がかかる」など様々な理由で計画どおり進んでいません。水道局長なぜですか？

議長：いちば局長

局長：管路更新は着実に行われていますが、浄水場の整備など全体の更新費用は年々高騰していることが原因だと聞いていますが、今後も着実に進める計画だと報告を受けています。

みずき：報告を受けていると言いますが、この報告書も第3者のモニタリング、すなわち民間のコンサルタントが作成したものです。

局長：国（厚生労働省）が作成したガイドラインに基づき適切に評価されているものと理解しています。

みずき：わたしが聞いているのは「局、公として」の評価なんです。202×年の市議会議事録では局は「モニタリングは重要なので、しっかりとその機能を維持していく」と答えています。でも、結局、職員を削減しつづけ203×年には技術職員はゼロで事務職だけになっています。これって、まったくモニタリング機能は失われたということじゃないですか。

局長：水道事業トータルで経費を削減するためというか経営努力をした結果です。繰り返しですがモニタリングは適切に行われていると理解しています。（汗）

みずき：質問をかえます。（怒）。では、この先の経営見通しです。結局、民営化しても経営改善されず、さらに広域化を推進し以前保有していた自己水源による浄水場も廃止して県の水を増やした結果、以前より給水





原価が相当上がっているはずですが、現在の給水原価の内訳の説明を求めます。

局長：給水原価については、先ほどの報告書にありますように、総原価方式と言ってさまざまなファクターを含んでいますが、その内訳というか詳細につきましての資料はご覧の通りです・・・県からの水の供給原価も県企業内の努力で削減に努めていると理解しています。(汗、汗)

みずき：局長！まったく質問に答えられていません。これも過去の議事録ですが「水道料金値上げの際には議会に説明し、理解を求めると回答されていますが、今回の契約更新にあたり、再度、料金設定の上限を引き上げると言っているのに、給水原価の内訳も説明できない。そんな状況で契約更新しなくてはならないのですか。

局長：本市の水道をひきつづき安全・安定的に供給するため契約更新は必要なことと考えております。

みずき：それでは運営企業の役員報酬や配当など公営時代にはなかった経費。ストレートに言うと「儲け」はどれだけ含まれているのですか？この資料では読み取れません。また、当初、民営化したときの運営権対価。企業から市に支払われた金額は●×△億円でしたが、これが少なかったのではないですか。

局長：運営企業の詳細の経営経費は承知しておりませんが・・・うんたらかんたら。また運営権対価は事業トータルで単純比較できませんが、これまでの運営業務の総量からして妥当な数字だと考えております。

みずき：これも数字では示せないとのことですね。残念な事に、民営化後は生活困窮者への給水を止める事例も公営のときの10倍以上と非常に増えてしまいました。国連は家庭の総支出の3%程度が「支払い可能な水道料金」としているのに公営時代の1%以下から今では2%にもなってしまった。これは水道が福祉であるということを完全に忘れていませんか！

局長：公営でも結果的には値上げをしていたと思われませんが、比較ができません。民営化は水道の安全・安定をつづけるために必要だったし、そのための適正な料金値上げを行ったものだとして承知しています。

みずき：先の水道法改正の国会審議で懸念されたことが現実となった。そして世界の水道民営化の実態とまったく同じですね。いまなら、まだ市民への損害は少ないです。コンセッション契約を更新せず、再公営化することを要望して質問を終わります。

こうえい：議会どうだった？

みずき：やっぱりって感じ。不透明なんてもんじゃないわ。まともな資料も出てこないし。民間企業と県企業局には直接質問もできないし。

こうえい：結局、また契約を20年延長するの。

みずき：それはまだわからないわ。

作成：自治労連公営企業評議会
事務局：名古屋水道労働組合
名古屋市中区三の丸
TEL052-971-3106

※本資料を組織外へ配布もしくは転載する場合は、目的、配布方法など事務局までご連絡ください。

すこし考えてみて 水道の民営化と広域化

??素朴な疑問?? 第8話



水道法は何をめざしたの②



コンセッション（公設民営）方式で上下水道事業を実質民営化しようとしています
完全民営化じゃないから大丈夫と言うけど、本当に大丈夫なの？
水道法の何を変えようとしているのでしょうか。

出演：市議会議員・水野水貴（みずき）、水野公営（こうえい）

（204×年。「みずき」と「こうえい」の家に市民広報が届いてから20年が経ちました。みずきの街の水道を「このまま民営にするか？再公営化するか？」をめぐる市議会が開かれています。）

こうえい：来週も議会で質問なんだろ。まさかみずきが議員になるとは思ってもみなかったよ

みずき：だって、民営化される時、なにもできなかったもの。でもその後、まもるさんたちと知り合ってから聞いたことがその通りになってしまって。やっぱり許せないのよ。

こうえい：今度はどんな質問するの。

みずき：やっぱり水道法は今も生きていると思うの。だってちゃんと公営企業の本質をまもってるN市のような事業体もある訳でしょ（第9話で）

こうえい：公営企業は、公共の福祉の増進が本来の目的だ！ってやつね。

みずき：市も最初は職員を運営会社に派遣してノウハウを残すといってたけど、3年で戻ってくるのは管理職クラスだけ、一般職員は結局、民間企業の職員になってしまった。

こうえい：「そうた」（第4話）さんも民営化の会社に雇われたけど、結局、クビ同然で解雇されたらしいね。

みずき：そうなのよ。民営化されてから労働条件もひどくなるばかり。結局、労働条件が悪くなればいい仕事はできない。と、「そうた」さんが言ってた。

こうえい：それもあるけど、公営企業のトップが市民と企業、どちら向いて事業を行っているんだ！でしょ。みずきの原動力は。

みずき：そうなの。私もこんなことになるまでどうして気が付かなかったんだろうという反省もあって議員になっちゃったけど、トップが水道法の理念を理解して努力してるのか！って言い続けるよ。

こうえい：それはそうと議会はどんな状況なの

みずき：けっこう微妙なところまで来たと思うよ。なんといっても市民の反応が違うよね。民営化したときとは。



こうえい：民営化を進めた与党も汚職にまみれて総辞職してから潮目が変わったよね。結局、富の集中が何をもたらしたか気づいたから。

みずき：私の友人のM市議員も再公営化に向けて奮闘しているけど、広域化されたところだから、企業団が方向性を決めてしまうから「市議員員では何もできない・・・」ってぼやいているわ。

こうえい：それって何で？

みずき：企業団には企業団議会があるんだけど、各自治体の市長などで構成されているので、大きな市の意見が強いし、与党の市長が多いから。だから資料請求ぐらいしかできなくて、質問もできない。

こうえい：そうだったね。でも、民営化は止められたという話でしょ。

みずき：そうなのよ。広域化のつぎは民営化されるかもってことで、市民参加型の協議会をつくっていたから提案されないよう市民が関心をもっていただけだよ。

他にも、やっぱり水の自治は自治体にあるべきだ。「自分たちの水を自分たちで選べないのはおかしい」って市民と、それぞれの市が協力しあって「新しい広域化」を模索している公営水道事業体連合ができています。

こうえい：20年前になつき（11話で登場）さんが言っていた公公連携ってやつだね。自己水源も復活させているらしいね。

みずき：ダム再生ビジョンでダムの有効活用のための多額な費用が必要になって、やっぱり身近な水源のほうが長期的には安いということがわかったってことよ。

こうえい：●×震災では、長距離送水管が破断して大変だったらしいね。その時、自己水源（地下水）をもっていたところは、なんとか水が確保できて、やっぱり「近くの水源は大事」だと見直されたのは大きいんだろ。

みずき：それこそが水道法の本旨よ。水のあるところに人の営みは生まれた。その水を大切に使い続けることが大事なのよ。

こうえい：まだ水道法は生きている！がみずきの口癖だもんな。

みずき：やっぱり歴史は証明するよね。きっと



ダム再生ビジョンとは

国土交通省は2017年6月に「ダム本体は半永久的に使える」として、既存ダムの有効活用を図る「ダム再生ビジョン」を作成しました。全県広域化を行った香川県の水源地ダムである早明浦（さめうら）ダムも平成30年度予算でダム再生調査費3億円が計上されています。

再生事業に関わる利水者への負担分については不明ですが、もし利水者に負担させることとなれば水道事業にも大きな負担増となります。

今回の水道法「改正」案では、第2条「国の水源開発の責務」を削除しており、その懸念が強まります。

作成：自治労連公営企業評議会
事務局：名古屋水道労働組合
名古屋市中区三の丸
TEL052-971-3106

※本資料を組織外へ配布もしくは転載する場合は、目的、配布方法など事務局までご連絡ください。

すこし考えてみて 水道の民営化と広域化

??素朴な疑問?? 第9話



民営化への対案は①



コンセッション（公設民営）方式で上下水道事業を実質民営化しようとしています
水道の危機を救うには「広域化と官民連携が必要」といいます。
利益を優先する民営化で災害対応能力は維持できるの？

出演：市議会議員・水野水貴（みずき）、水道局長・市場嘉文
N水道労働組合・役員（しんご）、（るい）、（なり）、N市上下水道局長

（202×年水道法改正が行われ、次々と民営化・広域化されていく水道事業が多い中、公営企業としての存続をかけて、たたかいをつづけた事業者もありました。そして203×年、みずきの市を含む地域で震災が発生しました）

（203×年。N市上下水道局⇄N水道労働組合との団体交渉）

しんご：毎年の団体交渉で、公営企業による事業運営を労使で確認し、継続的採用と人材育成に努力してきた結果、一定の技術・技能の伝承が行われました。

しかし、今回起きた●×大震災では、心配していたように各都市の支援能力が低下したと感じました。それでも、わたしたちの復旧作業は迅速におこなわれたと自負しています。

なり：わたしたちの下水処理場も大きな被害を受けましたが、それでも最悪の事態には至らなかったのは直営技術・技能をまもってきたからだと思います。

しんご：しかも、自分のところも大変な中で周辺事業者へ復旧隊を派遣してきた。派遣された職員も残った職員も不眠不休で奮闘したが、こんなことができるのはわが市ぐらいではないか？

N市局長：確かに、わが市の業務を行いながらの災害復旧は大変です。しかし、全国から期待されるということは、2010年代に「公営企業として必要な人材を確保し育成していく」という労使合意で技術・技能伝承の取り組みを進めてきたことは間違いではなかったと証明されたと感じています。

るい：わが市が災害協定を結んでいる政令市でも多くの人材を喪失し、わが市への応援が本当に来るのか？危うい状況だと、その当時、言っていたが、本当にその通りになってしまった。

N市局長：歴代の局長も、政令市の機能を残すことを国に訴えてきましたが、民営化の流れは止まらず残念だ。わが市は、周辺事業者を支援する「公公連携」の仕組みをつくったが、職員採用にも制約があり、皆さんに負担をかけている。

しんご：料金値上げにより経営の安定は保たれているが、料金改定の際の議会の付帯決議「さらなる経営努力」が、結局、採用抑制になってしまい、思ったような採用となっていない。

るい：他都市が「民営化失敗」とわかるまでには、まだ何年もかかるだろうが、その間もちこたえること

N市局長：202×年の水道法改正、そして政令市でのコンセッション導入により「民間の方が効率的」

という流れの中、私も公営の優位性をことあるごとに発言しているが、アウェー感はものすごい。

しんご：局長の努力は理解している。やはり国の方向性をかえないとどうしようもない。

(同時刻、**みずき**の市議会では)

みずき：今年、起きた●△大震災では「民営化の際も災害対応能力は維持する」としていましたが結局はできず、他都市の応援を受けることとなった。局長、なぜですか。

局長：他都市の応援については協定にもとづき行われたものですが、運営会社も最大限努力したと報告を受けています。

みずき：しかし、運営会社の復旧作業は「契約外の業務」として、費用は市が負担するとしていますね。説明では復旧において新しい管を入れるので、契約書にある「耐用年数間近の設備の更新費用については市が負担する」に準じるとしています。これらは想定していなかったことですよね。ということは当初「これだけ経費は削減できる」としていた効果もなくなってしまったのではないですか。

局長：そもそも更新予定の管であり想定内のことだったと認識しています。

みずき：今回、被害を受けた管の中には災害時の避難施設への管も含まれていました。なぜ、このような重要な管が更新されていなかったのでしょうか。

局長：提出された事業計画書に従い適切に更新工事は行われていたと認識しています。

みずき：そうした事業内容をモニタリングすることがなぜできなかったのでしょうか。結局は費用がかかるところだから後回しにしていたということではないですか。



局長：そうゆう訳ではなく事業は適切に実行されてきましたが、その計画外の管ということです。

みずき：時間がありませんので最後に局長の個人的見解でも結構ですので感想を聞かせてください。今回の震災では他都市から多大な援助をいただいたため、断水も早く復旧できたのですが、今後、援助していただいた他都市へ派遣する能力はわが市に残っていない。こんな状況で申し訳ないと思わないのですか？

局長：答弁を差し控えさせていただきます…

公営と民営で災害時の公平性は保たれるのか

水道法「改正」のための委員会（水道事業の維持向上に関する専門員会（厚生労働省）第2回・2016年5月23日）で元日本水道協会理事長・尾崎勝氏（当時、理事長）は次のような発言をおこなっている。民営化というか、民間の水道事業に対しての支援を今後どうするかという課題があると思います。日本水道協会は応急給水に対しては基本的に要請があれば支援しますが、応急復旧に対しては、費用負担の問題、財政支援などについては、公と民との公平性も含めて考えていく必要があると思います。」

作成：自治労連公営企業評議会
事務局：名古屋水道労働組合
名古屋市中区三の丸
TEL052-971-3106

※本資料を組織外へ配布もしくは転載する場合は、目的、配布方法など事務局までご連絡ください。

すこし考えてみて 水道の民営化と広域化

??素朴な疑問?? 第10話



民営化への対案は②



コンセッション（公設民営）方式で上下水道事業を実質民営化しようとしています
水道の危機を救うには「広域化と官民連携が必要」といいます。
官民連携で技術力を確保するといいますが、他に方法はないの？

出演：自治労連公企評（るい）、（なり）、厚生労働省

（202×年水道法改正が行われ、民営化・広域化されていく水道事業もありました。しかし、公営企業の存続・発展を要請する自治労連公企評の仲間の姿がありました）

（203×年。厚生労働省⇄自治労連公企評の要請）

るい：広域化はスケールメリットを活かして人材を確保するといっていたが、結果をみると広域化後も採用はない、またはごくわずかな状況。結局は一括して委託に投げているのでは、なんのための広域化だったのか。

厚労省：広域化により経営改善されている事業体もあり、委託も各事業体の判断で経営改善を行うツールとして使用しているものだ。

なり：経営改善というが、区域内の統一料金にし、人口の多い地域で値上げをおこなって市民の負担を増やしただけ。それでも、ぎりぎりの経営をしている。やはり国が責任をもって財源を確保するべきではないか。そうでないと次はコンセッションへと進んでいくしかなくなる。

厚労省：コンセッション導入はあくまでも「選択肢のひとつ」なので事業体が選択すること。

るい：全県広域化を行ったK県では、広域化の次に予想される民営化にそなえて住民が情報公開と経営状況に一定関与できる協議会を設立した。その結果、民営化はだめだという住民の意思が伝わっているが、こうした住民参画のしくみがなければ、住民が知らない間に民営化が決まってしまう。ガイドラインなどにしめすべきではないか。

厚労省：そうした仕組みも各事業体で判断して設置するもので、国が一律に決めるべきものではない。

なり：コンセッション導入は国が誘導しておいて、住民参加の仕組みはしめさないでは誰のための水道なのか。やはり水道法「改正」の理由となった基盤強化とは、水を商品とするため広域化によりシェアを拡大し、住民の知らないところで民営化



できる基盤づくりだったということでしょう。

厚労省：・・・

なり：広域化へは国の財源を投入して施設を更新した。コンセッションは、新しくなった施設をつかって「どうぞ儲けてください」といっているようなものですね。施設を使い倒した後は、次の更新費用はなくなる。これって、世界で起きたことと同じ結果になるだけではないんですか？

厚労省：そのようなことにならないよう、適切にモニタリングしていると認識しています。

なり：だから（怒）モニタリングできる職員はいない！モニタリングまで委託している！わたしたちの先輩は10年前にこうなる！って言ってました！（熱くなり言葉を失うなりであった）

厚労省：・・・

るい：失礼しました。でも、わたしたちの先輩は「コンセッション導入が選択肢の一つと言うなら別の選択肢もしめすべき」と訴えてきた。その一つが公公連携の推進で、この案を示したのは水道法改正案がでた2018年のこと。

その当時、厚労省も一定の理解をしめしていただいたそうだが、災害時の対応はもちろん、技術援助ができる体制の再構築のために必要ではないか。

厚労省：毎年の要請で趣旨は理解している。再度検討をしてみる。

るい：時間もなくなってきたのでそろそろ終わりにしますが、先の●△地震では災害支援体制が崩壊していることを実感した。これは水道法「改正」前から危惧され、新水道ビジョンでも懸念されていたこと。いまならまだ間に合う。早く別の選択肢をしめし、国が水道事業を保護育成しなければ数十年後ほとんどないことになる。

（要請が終わって、廊下で立ち話では・・・）

厚労省：わたしも広域化はともかく民営化はどうかと思っている。

るい：公式には言えない立場ですよ。

厚労省：その他の選択肢で成功している事業者の発言力が増すといいですね。

るい：わたしたちも努力し続けますが、陰から応援してください。今日はありがとうございました。



新水道ビジョンにも記載された懸念とは

（前略）しかしながら近年の地方公共団体の水道従事職員は減少傾向にあり、仮にこの傾向が続くとすれば、将来の発生が懸念される東海地震、東南海・南海地震、首都直下地震などによる大災害時、全国の水道事業者等が、自らの平常時の事業を継続しつつ、被災事業者に対して迅速かつ適切な支援を行うための人員を確保できるかどうか、非常に大きな懸念を抱かざるをえません。このことは、地方公共団体が水道従事職員を合理化する際に勘案すべき重要な事項といえます。

作成：自治労連公営企業評議会
事務局：名古屋水道労働組合
名古屋市中区三の丸
TEL052-971-3106

※本資料を組織外へ配布もしくは転載する場合は、目的、配布方法など事務局までご連絡ください。

すこし考えてみて 水道の民営化と広域化

?? 素朴な疑問?? 第11話 (最終回)



水は商品ではありません



コンセッション (公設民営) 方式で上下水道事業を実質民営化しようとしています
公営か民営かの問題ではなく、水はみんなの大事なものだから
本当に考えなくてはいけないのは「水を売って儲けていいの？」ではないでしょうか。

出演：出演：水野水貴 (みずき)、水野公営 (こうえい)、市民の水を考える会・水尾守 (まもる)
自治労連公企評事務局長 (なつき)

(202×年みずきの街の市議会が水道民営化を決めた後の反対集会には、水道について何も知らなかったところと違うみずきとこうえいの姿がありました)

まもる：今日は現役水道職員でもある「なつき」さんに話をしてもらいます。

なつき：森・かけ問題では前川氏が「あったことを、なかったことにはできない」という名言と公務員としての意地を示しましたが、私にはそこまでの勇氣はないので、水利権がらみの「ウラ話」を話すことはできません。これを話せば職を失うので・・・

先の国会では、公文書偽造という問題さえ「うやむや」にして国会を運営し、水道法「改正」を決めてしまいました。野党の多くの議員が指摘した「世界では再公営化の流れ」「民営化は失敗している」の事例も無視しての強行です。衆議院では与党も発言なく、たったの2日で採決を・・・(話はつづく)

まもる：ありがとうございました。では、質問です。最初にわたしから。民営化で水道の安全が保たれるのか心配ですが、なつきさんはどう考えますか

なつき：私は「公営だから安全・安心」とは言わないんです。それは私自身もですが、かつて公務員がヒドイ働き方をしていたことは確かなんです。だから、そこに付けこまれて公務員バッシングが起きた。そこは反省しなければならない。でも、それって公も民も関係ないことですよ。

日本では電気もガスも鉄道も民営でやっていますが、世界に誇れる高水準を保っています。だから、水道も「民間だから危ない」とは言わないんです。

肝は、料金に利益が含まれているか?であり、労働者の質が保たれているか?でしょう。原発事故で明らかになったように電気料金には「配当・報酬」や「宣伝」の費用まで含まれてますよね。

みずき：なつきさんは「民営化反対」とは言わないですね。なぜですか?



なつき：わたしは、水道法「改正」と民営化の議論は「いままであたりまえだった水道」について考えるいい機会であると考えてことにしました。水道施設は住民の財産だという感覚をみがき、水を大切に使うというあたりまえのことが話し合えれば、水は商品にしてはいけないうてわかるし、水道事業を誰が運営するのがいいかわかると思います。

会場より：市は今回の説明でも、公営なら1.5倍に値上げが必要だと説明しました。料金値上げして公営でやれるならそれでもいいとわたしは思うのですが。

なつき：私は、事業者によっては、当面、一定の料金値上げが避けられない事業者もあると思っていますが、水道料金値上げの理由もしっかりと市民に説明しなければいけない。必要なのは、水道もですが福祉の財源を国が責任をもって支出することです。事業者は、その財源を「国が出さない」ということを市民に説明したうえで国にはたらきかけつづけ、将来的には理想の状態へもっていければと考えています。

こうえい：なつきさんは、いくつかの対案を示していますが一番大事だとおもうことはなんですか

なつき：先ほどの財源も大事ですが、もう一つ、公営でがんばっている水道職員が励まされるような環境がほしいです。わたしには残された年数が少なくなりましたが、将来に希望をもてる職場でなくてはなりません。それは自分たちの労働条件のことだけでなく、地域住民のために働いているという実感と、市民の期待があってこそ誇りとやりがいのもてる職場になると思います。だから、労働組合の役割は「住民にとってどんな水道が必要か」を考えつづけ、実践することだと思っています。

まもる：最後に一つ。わたしたちの市は民営化を決めてしまいましたが、展望はありますか。

なつき：世界では、水道だけでなく、さまざまな公共部門の再公営化が行われています。

2018年1月には、イギリスで官民連携会社が倒産して、公的な会計監査院も「民営化のほうが高くつく」というレポートをださざるを得ない状況になってきた。世界では民営化の失敗を認め、新しい公営の形を模索しだしたということです。世界で数十年前に始まった水道民営化ですが、日本ではまだ1つも行われていないし、日本人には「水を商品にしてはダメ」という感性があると信じてます。

そして、まだ契約をした訳ではありません。契約が結ばれるまで、あきらめずに契約の中身もあきらかにさせて、最悪でも後戻りできないようにしないとイケない。いつか再公営化できるように。

わたしは公営水道の理想形に向けて努力します。

(その夜)

みずき：わたし、将来、市議会議員になろうかなって思っちゃった。だって、いったん民営化されても、再公営化するかもしれないし。

こうえい：はは。みずきらしいね。



世界では様々な公共部門が再公営化。いまま増え続けている

作成：自治労連公営企業評議会
事務局：名古屋水道労働組合
名古屋市中区三の丸
TEL052-971-3106

※本資料を組織外へ配布もしくは転載する場合は、目的、配布方法など事務局までご連絡ください。